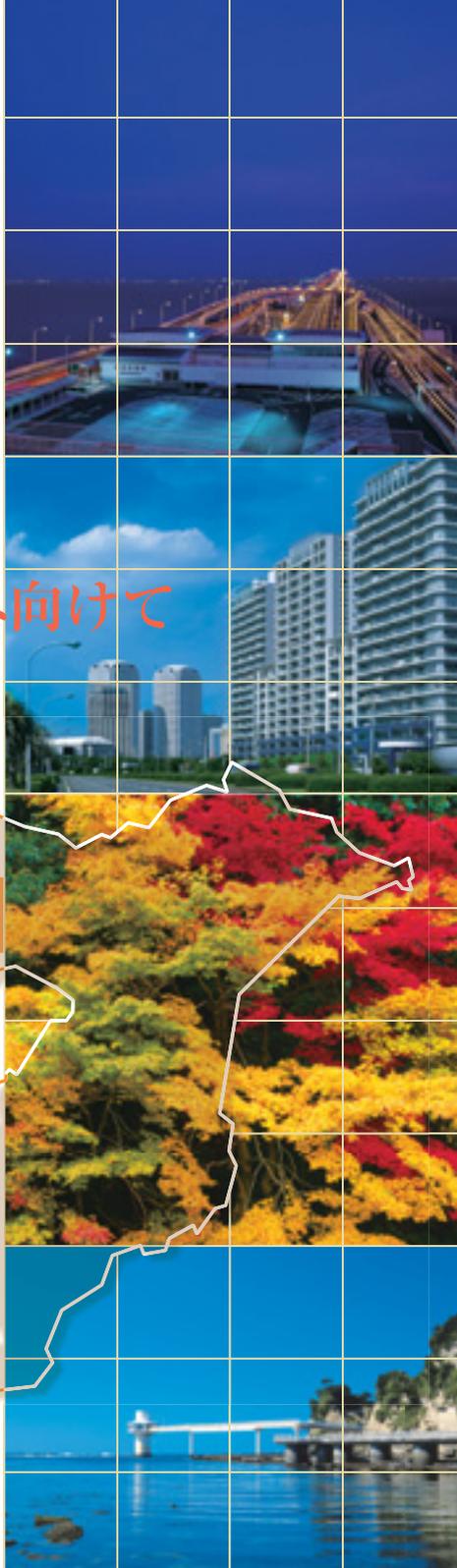


# 「価値創造」へ向けて

CHIBA BANK 2005

ミニ・ディスクロージャー誌

平成18年3月期 営業の中間ご報告





## 千葉銀行のプロフィール

平成17年9月30日現在

|               |  |
|---------------|--|
| <b>設立</b>     | 昭和18年3月  |
| <b>拠点</b>     | 国内：159店舗<br>(本支店142、特別出張所5、出張所10、仮想店舗2)<br>店舗外現金自動設備16,505か所<br>(うちコンビニATM「E-net」5,822か所、セブン銀行との提携による共同ATM10,434か所)<br>両替出張所2か所<br>海外：3店舗（ニューヨーク、香港、ロンドン）<br>1駐在員事務所（上海） |
| <b>従業員数</b>   | 3,827人   |
| <b>総資産</b>    | 9兆188億円  |
| <b>預金</b>     | 7兆7,441億円  |
| <b>貸出金</b>    | 5兆8,064億円  |
| <b>資本金</b>    | 1,210億円  |
| <b>発行済株式数</b> | 845,521千株  |
| <b>自己資本比率</b> | 単体10.42% 連結10.75%  |

## 目次

|                        |    |
|------------------------|----|
| 頭取メッセージ                | 2  |
| 中期経営計画                 | 5  |
| 地域の皆さまとともに             | 6  |
| 地域密着型金融推進計画について        |    |
| 平成17年9月中間期業績のご報告       |    |
| 貸出金の状況                 |    |
| 預金等の状況                 |    |
| 資産健全化への取組み             |    |
| 千葉県経済活性化に向けて           |    |
| より安心・安全に<br>お取引いただくために |    |
| 財務諸表(連結)               | 13 |
| 財務諸表(単体)               | 15 |
| 株式の状況                  | 17 |
| ちばぎんネットワーク             | 18 |

※諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

当行はお客さまとの、  
双方向のコミュニケーションを  
大切にしています。



### 中期経営計画「『価値創造』へ向けて 挑戦と革新の100週間」について

当行は、中期経営計画「『価値創造』へ向けて 挑戦と革新の100週間」のもと、経営指針である「進化しつづける『地域の総合金融サービスグループ』の実現」を目指し、お客さまや株主の皆さまに最高の満足感と信頼感をお持ちいただくための「価値創造」をキーワードとして、諸施策を展開しています。

中期経営計画の主要課題は、「ゆるぎない営業基盤の確立」と「経営システムの不断の改革」による「市場優位性・持続的収益力・ブランド力の飛躍的向上」としています。具体的には、個人向けビジネスへのさらなる経営資源のシフトや新たな金融手法の取組みなどによる法人向けビジネスの強化、マーケット運用力の強化などにより、ゆるぎない営業基盤の確立に努めています。あわせて、個人情報保護法への的確な対応など法令等遵守態勢の強化、バーゼルⅡへの対応などリスク管理態勢の高度化に加え、機動的な経営資源の配分、徹底

的な業務の効率化及び戦略的な収益管理の実践などにより経営システムの不断の改革を進めています。なお、これらの施策のうち重点課題については、中堅・若手行員を中心とした組織横断的なプロジェクトチームにおいて徹底した議論と検証を行い、新しい、柔軟な発想をダイレクトに経営に反映させるなど、役職員一人一人が新たな価値の創造に向けて、スピード感をもって取組んでいます。

### メガバンクをはじめ金融機関の競争が 激化するなか、営業力強化に向けた取組みを進めています。

当行では、お客さまがいつでも、どこでも、誰でも、良質で多様な金融商品・サービスにアクセスできるよう新たな金融手法・チャネルの充実などに積極的に取組んでいます。

本年4月からは、銀行本体でのクレジットカード発行を開始し、10月にはIC機能を搭載したキャッシュカードとの一体型カードといたしました。今後につきましては、当行の一体型カード

を数多くのお客さまにお持ちいただき、家計のメインカードとしてご利用いただきたいと考えています。今後も、一体型カードの機能向上を図り、カード業務を住宅ローンや投資信託・年金保険などの金融商品に次ぐ個人分野の第三の柱に育ててまいります。

また、チャネルの充実では、5月に成田西支店、11月にユーカリが丘支店を移設しましたほか、来年秋の支店開設を目指し10月には葛西支店開設準備委員室を設置しました。店舗は、お客さまと当行を結び付ける重要な接点であり、今後も千葉県をはじめ成長の見込まれる地区への出店を検討していきたいと考えています。

あわせて、営業態勢の見直しも実施しています。つくばエクスプレスの開通などにより人口が増加し、かつ、メガバンクとの競合の激しい千葉県北西部に約100名の営業人員をシフトし、強靱で堅固な営業基盤を確立したいと考えています。また、ノウハウが必要となる法人向けの貸出を近隣の営業店に集約するなど、お客さまに高度な金融サービスを提供するための営業店機能の見直しを進めてまいります。

当行が主要な地盤とする千葉県は、引続き人口増加が見込まれるなど、金融サービスを提供する場としては、申し分ないマーケットといえます。千葉県で圧倒的なシェアを確保し、お客さまからの高い信頼を得るためにも、お客さまと身近に接する営業店の機能を今まで以上に高め、「お客さまのお近くで」、「お客さまのために考え」、「お客さまとともに歩む」姿勢を継続してまいります。



### 住宅ローンや投資信託など個人向けビジネスが順調に推移し、平成17年9月期の経常利益・中間純利益は過去最高の水準となりました。

当行は、住宅ローンや投資信託・年金保険の販売など、個人向けビジネスへの経営資源シフトを進めています。住宅ローンでは、11のローンセンターと各営業店に配置した個人渉外担当者が、住宅業者との連携強化を図ったことに加え、お客さまのライフステージにあわせた提案を行った結果、住宅ローン残高は1兆8,031億円とこの1年間で1,308億円増加しています。また、投資信託・年金保険では、営業店の相談受付体制を整備したほか、当行専用商品の導入など商品ラインアップの充実などを行うじ、お客さまへの最適な資金運用提案を進めました結果、投資信託残高及び年金保険の販売額累計は地方銀行でトップとなりました。このように好調な個人部門に支えられる形で、17年9月期決算は次のようになりました。

業務純益は、投資信託等預り資産の増強による役員取引等利益の増加などにより一般貸倒引当金繰入前で前年同期比18億円増加し374億円となりました。また、不良債権の処理が進み、不良債権処理コストが減少したこ

となどにより、経常利益は前年同期比72億円増加し360億円、中間純利益は前年同期比38億円増加し234億円と、経常利益、中間純利益とも過去最高の水準となりました。

また、金融機関の健全性を示す自己資本比率は、9月末時点でちばぎん単体では10.42%、ちばぎんグループ連結では10.75%と、当行のように海外に拠点を持つ銀行がクリアすべき国際統一基準である8%を上回る十分な水準を確保しました。

なお、中間配当金につきましては、1株当たり3円といたしました。

## ビジネスマッチングやPFI・シンジケートローンなど新たな金融手法にも積極的に取り組んでいます。

法人向けビジネスについては、地域への円滑な資金供給、新たな金融手法への積極的な対応、ベンチャー企業の育成、地域企業の経営改善支援などを重点課題として取り組んでいます。これらの取組みに際しては、お客さまとの距離感が近い当行の強みを活かし、お客さまと双方向のコミュニケーションを大切にしています。

本年6月には、当行本店において「中国」をテーマに「ちばぎんビジネスフォーラム」を開催したところ、23社の企業が出展し、86社の企業にご来場いただき、数多くの商談が成立いたしました。また、地域への円滑な資金供給を目指し、平成17・18年度の2年間で6千先の地域の中小企業等との融資取引の開始を目指しているほか、PFI、シンジケートローン、CLOなど証券化を活用した商品の推進などにも積極的に取り組んでいます。なお、当行が取組んだPFI案件が、「第1回日本PFI大賞」を受賞しています。

また、現在は一時的に財務面で厳しい状況

にあるものの、経営改善に向け努力している企業に対しては、営業店及び本部の専門担当者が、お客さまの課題・改善策等を十分に検証したうえで、経営改善計画の策定や、千葉県中小企業再生支援協議会などの外部機関を有効に活用するなどして、お客さまの経営改善の取組みを積極的に支援しています。

法人向けビジネスにつきましては、お取引先各社とも抱える課題が区々であり、オーダーメイドの対応が求められます。当行の強みであるお客さまとの距離感の近さ、地域の実情を把握した対応、ビジネスに結びつく数多くの情報などを、今後とも有効に活用していきたいと考えています。

## 最後に

営業力の強化に向けたさまざまな取組みに加え、コンプライアンス態勢、リスク管理態勢の整備など内部管理態勢の高度化を進め、お客さまに安心してお取引いただけるよう健全な経営に努めてまいります。あわせて、地域とともに生きる金融機関として、継続的な地域貢献活動、積極的な情報開示を進めていきたいと考えています。

そして、お客さま、株主の皆さま、地域社会の皆さまに最高の満足感と信頼感をお持ちいただける銀行となりますよう役職員一丸となって努力してまいります。

本冊子により、皆さまの当行に対するご理解をさらに深めていただき、一層のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月  
取締役頭取

竹山 正

# 「価値創造」へ向けて 挑戦と革新の100週間

活動期間：平成17年4月～平成19年3月

## 経営指針

進化しつづける「地域の総合金融サービスグループ」の実現

## 主要課題

### ゆるぎない営業基盤の確立

- 個人部門 規制緩和等の環境変化を踏まえ、お客さまにとってベストの商品・サービスをベストのタイミング、ベストのチャンネルで提供する
- 法人部門 お客さまニーズを的確に把握し、資金提供をはじめトータルソリューションを迅速に提供する
- マーケット部門 マーケット運用力を一段と強化する

### 経営システムの不断の変革

- ガバナンス態勢・コンプライアンス態勢・リスク管理態勢を高度化する
- 機動的に経営資源を配分する
- スリムで強靱な経営体質を維持する
- 戦略的な収益管理を実践する

市場優位性・持続的収益力・ブランド力の飛躍的向上

## 目標とする指標

|      | 連結当期純利益 | 単体業務純益 | ROA*   | ROE*   | OHR   | Tier I 比率 |
|------|---------|--------|--------|--------|-------|-----------|
| 17年度 | 380億円   | 740億円  | 0.4%程度 | 8.0%以上 | 50%程度 | 8%程度      |
| 18年度 | 440億円   | 810億円  | 0.4%以上 | 8.5%以上 | 50%未満 | 8%以上      |

※ROA、ROEは当期純利益ベース

## 地域密着型金融推進計画について（平成17年4月～平成19年3月）

### 基本方針

1. 当行は、千葉県を主要な地盤とする地域金融機関として、地域のお客さまへの利便性提供、地域経済活性化につながる各種施策を実施してまいります。
2. 当行は、平成17・18年度を計画期間とする中期経営計画『『価値創造』へ向けて 挑戦と革新の100週間』をスタートしております。地域密着型金融推進計画は、中期経営計画と実施項目・実施期間等で重なる部分も多く、

中期経営計画で掲げた諸施策を着実に実行に移すことが、地域密着型金融の機能強化につながるものと考えております。

### 平成18年度末に目指す経営の姿

2年間の重点強化期間は、「地域の皆さまに最高の満足感と信頼感をお持ちいただける銀行」となるための期間と位置付けております。そのために、計画に掲げた各種項目を着実に実行・実現し、地域のトップバンクとしての位置付けをより強固なものとしてまいります。

### 地域密着型金融推進計画の大項目毎の取組方針

#### (1) 事業再生・中小企業金融の円滑化に向けた取組み

当行は、「リレーションシップバンキングの機能強化計画」で取組んできた事業再生や創業・新事業支援などの施策を継続実施し、その実効性を高めるとともに、利用者がいつでも、どこでも、誰でも、良質で多様な金融商品・サービスにアクセスできるよう新たな金融手法・チャネルの充実などに積極的に取組んでまいります。

#### (2) 経営力の強化に向けた取組み

リスク管理や収益管理などの内部管理態勢

の強化・充実、ガバナンス機能の向上、コンプライアンス態勢の整備・充実に努めてまいります。

#### (3) 地域の利用者の利便性向上に向けた取組み

お客さま満足度向上活動を活性化し、お客さま向けアンケートを実施し、結果を公表するなどして、お客さまの声を聞き営業施策等に反映させてまいります。

なお、当行の「地域密着型金融推進計画」につきましては、当行ホームページをご覧ください。

<http://www.chibabank.co.jp/>

#### 地域密着型金融推進計画

#### 用語解説

金融庁は、平成16年12月に利用者の満足度が高く、国際的にも高い評価が得られるような金融システムを「官」の主導ではなく「民」の力によって実現することを目指し、平成17・18年度の2年間を重点期間とする「金融改革プログラム」を策定しました。同プログラムを受け、地域金融機関に対しては、平成17年3月に事業再生・中小企業金融の円滑化、経営力の強化及び地域の利用者の利便性向上を掲げた「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」が公表され、各金融機関は、平成17年8月末までに「地域密着型金融推進計画」を策定・公表することが求められました。今後、各金融機関は、平成17年8月末に策定した「地域密着型金融推進計画」の進捗状況を半期毎に公表・報告していきます。

## 平成17年9月中間期業績のご報告

### 損益の状況

業務純益は、投資信託等の預り資産の増強により役務取引等利益が増加しましたことなどから、一般貸倒引当金繰入前で374億円となりました。また、不良債権処理等に係る信用コストが前年同期比52億円減少しましたことなどから、経常利益は360億円、中間純利益は234億円と過去最高の水準となりました。

### 自己資本比率

当行の自己資本比率は、劣後ローン返済等により低下しましたが、ちばぎん単体で10.42%、ちばぎんグループ連結では10.75%と、海外で国際業務を行う銀行の基準とされる8%をクリアし、十分な水準を確保しています。

また、Tier I 比率は利益の積上げにより単体で7.40%、連結で7.71%と上昇しています。

### 経営指標

銀行経営の効率性を示すOHRは51.13%、資産の運用効率を示すROAが0.53%、資本の効率性を示すROEは11.04%となっています。引続き、経営の効率化を進めてまいります。

#### 業務純益

預金・貸出金など銀行の基本的な業務の成果を示す銀行固有の利益指標です。これは、預金・貸出金などの収支を示す「資金利益」、各種手数料収支を示す「役務取引等利益」、市場業務取引等の損益を示す「特定取引利益」、債券や外国為替の売買損益を示す「その他業務利益」の4つを合計した「業務粗利益」から、臨時経費を除く「経費」及び「一般貸倒引当金繰入額」を控除したものです。なお、この業務純益は、損益計算書の中には記載されません。

#### 自己資本比率

金融機関の健全性を示すものとして最も広く用いられている指標です。当行のように海外に支店を配置している銀行は、自己資本比率を国際統一基準である8%以上にすることが求められています。

#### OHR(オーバー・ヘッド・レシオ)、ROA、ROE

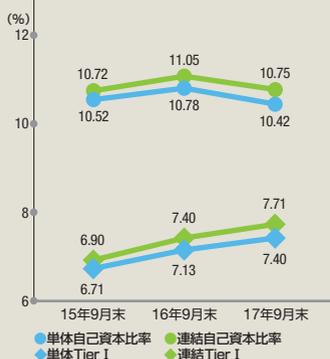
OHRとは、「経費」を「業務粗利益(一般事業会社では売上高総利益に相当)」で割り算出したもので、数値が低いほど高い効率性・生産性を有することを示しています。ROAとは、「当期純利益」を「総資産の平均残高」で割り算出したもので、資産の運用効率を示すものです。また、ROEとは、「当期純利益」を「期首資本の部と期末資本の部合計÷2」で割り算出したもので、資本の収益性を示すものです。

#### 用語解説

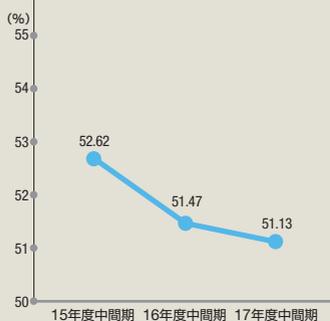
#### 業務純益



#### 自己資本比率・Tier I 比率



#### OHR



## 貸出金の状況

### 千葉県内向け貸出金の状況



### 千葉県内向け貸出金の状況

成長の見込れる地区への人員シフトなど営業態勢の見直しにより県内向け貸出を強化しましたほか、個人のお客さまの住宅ローンニーズや中小企業のお取引先の資金調達ニーズに積極的に対応いたしました結果、県内向け貸出金は前年同期比1,326億円増加し、4兆7,965億円となりました。

### 中小企業向け貸出金の状況

中小企業のお取引先への貸出金は2兆6,345億円と、国内貸出金の45.49%を占めています。

なお、保証協会保証付貸出金は3,718億円、千葉県信用保証協会保証債務残高シェアは48.4%と高いシェアを占めています。

また、銀行保証付私募債の引受けやシンジケートローンのアレンジャー業務など、新たな金融手法にも積極的に取り組んでいます。

### 中小企業向け貸出金の状況



### 消費者ローンの状況

千葉県内の住宅着工戸数が、年間6万戸(平成16年実績)と高水準で推移するなか、地域のお客さまの住宅ローンニーズに積極的にお応えいたしました。その結果、住宅ローン残高は前年同期比1,308億円増加し、1兆8,031億円となりました。

なお、千葉・幕張・柏のコンサルティング・プラザ、ローンプラザでは、土・日・祝日も各種ローンのご相談・お申込み・ご契約が可能です。

### 消費者ローンの状況



### ●コンサルティング・プラザのご案内

ちばぎんコンサルティング・プラザでは、お客さまの資産運用・住宅ローン・年金受給など、金融に関する各種相談にお応えしています。

TEL : 043-227-5211

営業時間：平日9時～19時、土・日・祝日10時～17時



※千葉県内向け貸出金の状況、中小企業向け貸出金の状況及び消費者ローンの状況の平成16年9月末・平成17年9月末の計数につきましては、部分直接償却後のものとなっています。

## 預金等の状況

### 預金の状況

平成17年4月にペイオフが本格実施されました。当行は、窓口での説明態勢の整備・充実、お客さまに安心してお取引いただけるよう健全な経営に努めました結果、国内預金残高は前年同期比3,364億円増加し7兆5,966億円、個人預金残高も前年同期比1,844億円増加し5兆7,606億円となりました。

また、当行ではお客さまの年金受給に関するご相談にお応えする「ひまわり年金教室」などを、17年4～9月に367回開催し、述べ3,285名のお客さまにご参加いただきました。

### 投資型金融商品の状況

お客さまの資金運用ニーズに対応し、当行専用のリスク軽減型投資信託など新たな商品を導入いたしましたほか、運用報告会の開催などアフターフォロー体制の充実に努めました結果、投資信託残高は前年同期比964億円増加し、4,114億円となりました。

なお、平成17年9月末の投資信託残高及び個人年金保険の取扱保険料累計額は、地方銀行でトップとなっています。

### ダイレクトチャネルの契約状況

お客さまに、いつでもどこでも当行にアクセスいただけるようテレフォンバンキング、インターネットバンキング、モバイルバンキングとも土・日・祝日を含め24時間（一部休止時間を除く）対応としています。

なお、テレフォンバンキング・インターネットバンキングでは、投資信託の購入・解約に加え、マイカーローンなどのローン商品のお申込みも可能です。

また、法人のお客さまに対しても、インターネットを活用したサービス等を提供しています。

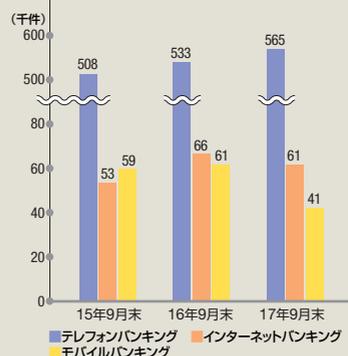
■ 預金の状況



■ 投資型金融商品の状況



■ ダイレクトチャネルの契約状況



## 資産健全化への取組み

当行は、厳格で適正な資産の自己査定に基づいて償却・引き当てを実施するとともに、現状は厳しい状況にあるものの再生可能な中小企業に対しては、十分な引き当てにより資産の健全性を確保したうえで、お取引先とのリレーションシップを強化するとともに、グループ会社である「ちばぎん総合研究所」や、「千葉県中小企業再生支援協議会」などの外部機関との連携により、経営改善支援の取組みを強化しています。

「地域密着型金融推進計画」の重点強化期間のうち平成17年4～9月には、349先のお取引先の経営改善支援に取組み、そのうちの43先(改善率12.3%)のお取引先の債務者区分が上昇しました。

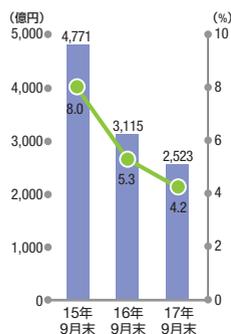
その結果、平成17年9月末時点の金融再生法開示債権は前年同期比591億円減少し2,523億円となりました。また、不良債権比率は前年同期比1.1ポイント低下し4.2%となっています。当行は、平成19年3月末に不良債権比率を3.5%程度まで低下させることを目指しています。

(単位：億円)



(※) 概算数値です。

### 不良債権比率の推移



※平成16年9月末・平成17年9月末の計数につきましては、部分直接償却後のものとなっています。

#### 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

#### 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

#### 要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

#### 正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外のものに区分される債権です。

#### 用語解説

## 千葉県経済活性化に向けて

### ★つくばエクスプレス開通

平成17年8月24日、つくばエクスプレスが開通し、千葉県には柏市と流山市に新駅が5つ誕生しました。つくばエクスプレス開通により、都心までの距離は約20分に短縮され、周辺区画整理事業では、10万人を超える新たな人口流入が見込まれています。すでにマンション建設や大規模商業施設の着工が決定し、あらたな街が急速に形成されつつあります。今後、成長の見込まれる地域であり、当行も当該地区への経営資源シフトを積極的に進めてまいります。



つくばエクスプレス

### ★ビジネスマッチングの取組み

お取引先企業の業績向上につながる高度かつ多様な提案活動を行なっています。特に当行のお取引先と他の地方銀行のお取引先のニーズを結びつけるビジネスマッチングの取組みで成果を収めています。

また、お取引先企業に新たなビジネスの出会いの場を提供する「ちばぎんビジネスフォーラム」では、都度テーマを定め、テーマに合った

技術やサービスを提供したい企業と、新たな技術の導入やインフラの整備により売上げ向上や販売先の拡大を図りたいという企業の商談が行われています。なお、平成17年6月には「中国」を、同年11月には「IT経営革新」をテーマに開催し、たくさんのお取引先にご来場いただき、その中から成約に結びついた事例もでてきています。

### ● 地域への貢献活動

#### 「千葉県少年野球大会」「千葉県ユース(U-15)サッカー選手権大会」に協賛

当行は、健全な青少年の育成と、地域社会におけるスポーツ振興を支援することを目的に、「千葉県少年野球大会」及び「千葉県ユース(U-15)サッカー選手権大会」に協賛しています。毎年、大勢の青少年が参加し、ファイトあふれるプレーが繰り広げられています。

#### ちばぎんひまわりコンサート

平成元年にスタートした「ちばぎんひまわりコンサート」は、毎回、多彩なアーティストをお迎えし県内各地で開催しています。



今後もさまざまなジャンルの音楽をとおして、地域の皆さまとのふれあいの場をお届けしていきます。

## より安心・安全にお取引いただくために

### ICキャッシュカードの導入

平成17年10月より、従来の磁気ストライプ型のキャッシュカードと比較し、偽造や不正な読み取りが困難で安全性の高いICキャッシュカードを導入しました。更に平成18年度上期中を目処に、ICキャッシュカードに生体認証による本人確認機能を追加する予定です。



### カード暗証番号の漏えい対策

#### (1) ATMテンキーの配列シャッフル

手の動きから暗証番号が類推されることを防ぐため、ATMで暗証番号を入力する際のテンキー(数字キー)の配列を取引ごとにシャッフルすることとしました。

#### (2) ATMの操作画面に遮光フィルターを貼付

横及び斜め後方から操作画面が見えなくなるよう遮光フィルターを貼付しました。

#### (3) ATMに後方確認ミラーを設置

後方からの覗き見防止策として、全てのATMに後方確認用の広角ミラーを設置しました。

### 被害拡大防止策

(1) キャッシュカードの1日当たり取引限度額を、ATMでお客さまの任意の金額に設定できるようにしました。

(2) お客さまのご希望により、他行やコンビニATMでの取引や、19時から翌朝8時までのキャッシュカードによるATM取引を制限できるようにしました。

### 進化したスーパーカード

平成17年4月より取り扱いを開始した「ちばぎんスーパーカード(クレジットカード単体型)」が、「ICキャッシュカード」と「キャッシュカード盗難保険」をプラスし、ちばぎんスーパーカード「(キャッシュカード・クレジットカード一体型)」へと進化しました。このカードは、一定の条件の下でATM関連手数料とクレジットカード年会費が無料となるほか、カードローンの金利優遇が受けられる便利なカードです。



# 財務諸表（連結）

## 中間連結貸借対照表 (単位: 百万円)

(平成16年9月30日現在) (平成17年9月30日現在)

(平成16年9月30日現在) (平成17年9月30日現在)

| 科目            | 平成16年9月末         | 平成17年9月末         | 科目                       | 平成16年9月末         | 平成17年9月末         |
|---------------|------------------|------------------|--------------------------|------------------|------------------|
| (資産の部)        |                  |                  | (負債の部)                   |                  |                  |
| 現金預け金         | 178,057          | 340,028          | 預金                       | 7,364,859        | 7,723,097        |
| コールローン及び買入手形  | 85,372           | —                | 譲渡性預金                    | 138,055          | 144,858          |
| 債券貸借取引支払保証金   | 2,044            | 13,195           | コールマネー及び売渡手形             | 13,822           | 35,764           |
| 買入金銭債権        | 12,310           | 21,235           | 売現先勘定                    | 18,999           | 35,999           |
| 特定取引資産        | 428,037          | 385,157          | 債券貸借取引受入担保金              | 134,285          | 291,589          |
| 金銭の信託         | 30,493           | 32,637           | 特定取引負債                   | 4,763            | 5,899            |
| 有価証券          | 1,793,471        | 2,233,281        | 借入金                      | 89,085           | 64,062           |
| 貸出金           | 5,618,578        | 5,767,592        | 外国為替                     | 267              | 443              |
| 外国為替          | 2,877            | 2,491            | 社債                       | 39,500           | 21,000           |
| その他資産         | 110,297          | 100,383          | その他負債                    | 105,350          | 130,050          |
| 動産不動産         | 105,772          | 101,928          | 退職給付引当金                  | 22,671           | 20,858           |
| 繰延税金資産        | 73,240           | 34,979           | 特別法上の引当金                 | 104              | 154              |
| 支払承諾見返        | 90,104           | 99,124           | 繰延税金負債                   | 128              | 206              |
| 貸倒引当金         | △95,878          | △83,615          | 再評価に係る繰延税金負債             | 9,419            | 15,338           |
|               |                  |                  | 連結調整勘定                   | 2                | —                |
|               |                  |                  | 支払承諾                     | 90,104           | 99,124           |
|               |                  |                  | <b>負債の部合計</b>            | <b>8,031,421</b> | <b>8,588,447</b> |
|               |                  |                  | (少数株主持分)                 |                  |                  |
|               |                  |                  | <b>少数株主持分</b>            | <b>7,563</b>     | <b>8,607</b>     |
|               |                  |                  | (資本の部)                   |                  |                  |
|               |                  |                  | 資本金                      | 121,019          | 121,019          |
|               |                  |                  | 資本剰余金                    | 98,247           | 98,264           |
|               |                  |                  | 利益剰余金                    | 144,525          | 180,111          |
|               |                  |                  | 土地再評価差額金                 | 13,954           | 7,757            |
|               |                  |                  | その他有価証券評価差額金             | 19,696           | 46,098           |
|               |                  |                  | 為替換算調整勘定                 | 47               | 17               |
|               |                  |                  | 自己株式                     | △1,694           | △1,904           |
|               |                  |                  | <b>資本の部合計</b>            | <b>395,796</b>   | <b>451,365</b>   |
| <b>資産の部合計</b> | <b>8,434,781</b> | <b>9,048,421</b> | <b>負債、少数株主持分及び資本の部合計</b> | <b>8,434,781</b> | <b>9,048,421</b> |

中間連結損益計算書(単位:百万円)

(平成16年4月1日から  
平成16年9月30日まで) (平成17年4月1日から  
平成17年9月30日まで)

| 科目                  | 平成16年9月期       | 平成17年9月期       |
|---------------------|----------------|----------------|
| <b>経常収益</b>         | <b>103,045</b> | <b>112,103</b> |
| 資金運用収益              | 68,128         | 71,888         |
| (うち貸出金利)            | (58,520)       | (57,810)       |
| (うち有価証券利息配当金)       | (9,251)        | (13,024)       |
| 役員取引等収益             | 18,910         | 20,594         |
| 特定取引収益              | 1,268          | 1,306          |
| その他業務収益             | 1,594          | 3,521          |
| その他経常収益             | 13,142         | 14,792         |
| <b>経常費用</b>         | <b>72,274</b>  | <b>71,773</b>  |
| 資金調達費用              | 5,251          | 8,798          |
| (うち預金利息)            | (1,693)        | (3,602)        |
| 役員取引等費用             | 5,667          | 5,961          |
| その他業務費用             | 6              | 709            |
| 営業経費                | 39,486         | 41,687         |
| その他経常費用             | 21,862         | 14,616         |
| <b>経常利益</b>         | <b>30,770</b>  | <b>40,330</b>  |
| <b>特別利益</b>         | <b>5,871</b>   | <b>5,489</b>   |
| <b>特別損失</b>         | <b>220</b>     | <b>1,098</b>   |
| <b>税金等調整前中間純利益</b>  | <b>36,422</b>  | <b>44,722</b>  |
| <b>法人税、住民税及び事業税</b> | <b>3,644</b>   | <b>11,309</b>  |
| <b>法人税等調整額</b>      | <b>11,658</b>  | <b>7,857</b>   |
| <b>少数株主利益</b>       | <b>391</b>     | <b>715</b>     |
| <b>中間純利益</b>        | <b>20,727</b>  | <b>24,839</b>  |

中間連結剰余金計算書(単位:百万円)

(平成16年4月1日から  
平成16年9月30日まで) (平成17年4月1日から  
平成17年9月30日まで)

| 科目                 | 平成16年9月期       | 平成17年9月期       |
|--------------------|----------------|----------------|
| 資本剰余金期首残高          | 98,178         | 98,250         |
| 資本剰余金増加高           | 68             | 14             |
| 資本剰余金減少高           | —              | —              |
| <b>資本剰余金中間期末残高</b> | <b>98,247</b>  | <b>98,264</b>  |
| 利益剰余金期首残高          | 127,850        | 158,107        |
| 利益剰余金増加高           | 20,727         | 24,989         |
| 利益剰余金減少高           | 4,053          | 2,985          |
| <b>利益剰余金中間期末残高</b> | <b>144,525</b> | <b>180,111</b> |

中間連結キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

(平成16年4月1日から  
平成16年9月30日まで) (平成17年4月1日から  
平成17年9月30日まで)

| 科目                           | 平成16年9月期       | 平成17年9月期       |
|------------------------------|----------------|----------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー             | 276,252        | 414,473        |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー             | △353,699       | △494,397       |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー             | △5,748         | △42,599        |
| 現金及び現金同等物に係る<br>換算差額         | 34             | 42             |
| 現金及び現金同等物の増加額                | △83,161        | △122,482       |
| 現金及び現金同等物の期首残高               | 237,954        | 452,090        |
| <b>現金及び現金同等物の<br/>中間期末残高</b> | <b>154,793</b> | <b>329,608</b> |

【平成17年9月期注記】

- 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 貸出金のうち、破綻先債権額は4,287百万円、延滞債権額は136,242百万円、3ヵ月以上延滞債権額は5,026百万円、貸出条件緩和債権額は108,857百万円、並びにその合計額は254,413百万円
- 銀行法施行規則第17条の5第1項第3号ロに規定する連結自己資本比率(国際統一基準)10.75%
- 動産不動産の減価償却累計額 92,528百万円
- 1株当たり純資産額 536円48銭
- 担保に供している資産として貸出金、有価証券、特定取引資産等合計額 674,579百万円
- 1株当たり中間純利益金額 29円52銭

# 財務諸表（単体）

## 中間貸借対照表（単位：百万円）

（平成16年9月30日現在） （平成17年9月30日現在）

（平成16年9月30日現在） （平成17年9月30日現在）

| 科目            | 平成16年9月末         | 平成17年9月末         |
|---------------|------------------|------------------|
| (資産の部)        |                  |                  |
| 現金預け金         | 175,831          | 338,318          |
| コールローン        | 85,372           | —                |
| 債券貸借取引支払保証金   | 2,044            | 13,195           |
| 買入金銭債権        | 12,310           | 10,887           |
| 特定取引資産        | 427,619          | 384,737          |
| 金銭の信託         | 25,561           | 26,788           |
| 有価証券          | 1,794,632        | 2,232,683        |
| 貸出金           | 5,655,451        | 5,806,403        |
| 外国為替          | 2,877            | 2,491            |
| その他資産         | 52,549           | 50,220           |
| 動産不動産         | 99,917           | 96,582           |
| 繰延税金資産        | 69,291           | 30,598           |
| 支払承諾見返        | 111,944          | 103,363          |
| 貸倒引当金         | △90,966          | △77,447          |
| <b>資産の部合計</b> | <b>8,424,437</b> | <b>9,018,823</b> |

| 科目                | 平成16年9月末         | 平成17年9月末         |
|-------------------|------------------|------------------|
| (負債の部)            |                  |                  |
| 預金                | 7,387,932        | 7,744,187        |
| 譲渡性預金             | 138,055          | 144,858          |
| コールマネー            | 13,822           | 27,664           |
| 売現先勘定             | 18,999           | 35,999           |
| 債券貸借取引受入担保金       | 134,285          | 291,589          |
| 売渡手形              | —                | 8,100            |
| 特定取引負債            | 4,763            | 5,899            |
| 借入金               | 113,693          | 74,130           |
| 外国為替              | 267              | 443              |
| 社債                | 10,000           | 10,000           |
| その他負債             | 72,564           | 97,239           |
| 退職給付引当金           | 21,936           | 20,462           |
| 再評価に係る繰延税金負債      | 9,419            | 15,338           |
| 支払承諾              | 111,944          | 103,363          |
| <b>負債の部合計</b>     | <b>8,037,684</b> | <b>8,579,278</b> |
| (資本の部)            |                  |                  |
| 資本金               | 121,019          | 121,019          |
| 資本剰余金             | 98,179           | 98,182           |
| 資本準備金             | 98,178           | 98,178           |
| その他資本剰余金          | 1                | 4                |
| 自己株式処分差益          | 1                | 4                |
| 利益剰余金             | 134,616          | 167,887          |
| 利益準備金             | 50,930           | 50,930           |
| 任意積立金             | 61,971           | 89,971           |
| 中間未処分利益           | 21,715           | 26,986           |
| 中間純利益             | 19,564           | 23,463           |
| 土地再評価差額金          | 13,954           | 7,757            |
| その他有価証券評価差額金      | 19,275           | 45,219           |
| 自己株式              | △291             | △521             |
| <b>資本の部合計</b>     | <b>386,753</b>   | <b>439,545</b>   |
| <b>負債及び資本の部合計</b> | <b>8,424,437</b> | <b>9,018,823</b> |

中間損益計算書 (単位: 百万円)

(平成16年4月 1日から  
平成16年9月30日まで) (平成17年4月 1日から  
平成17年9月30日まで)

| 科目                  | 平成16年9月期      | 平成17年9月期      |
|---------------------|---------------|---------------|
| <b>経常収益</b>         | <b>87,415</b> | <b>95,943</b> |
| 資金運用収益              | 66,739        | 70,556        |
| (うち貸出金利息)           | (57,206)      | (56,548)      |
| (うち有価証券利息配当金)       | (9,276)       | (13,056)      |
| 役員取引等収益             | 14,254        | 15,660        |
| 特定取引収益              | 1,021         | 1,040         |
| その他業務収益             | 1,589         | 3,518         |
| その他経常収益             | 3,809         | 5,167         |
| <b>経常費用</b>         | <b>58,588</b> | <b>59,907</b> |
| 資金調達費用              | 5,217         | 8,755         |
| (うち預金利息)            | (1,695)       | (3,604)       |
| 役員取引等費用             | 5,883         | 6,285         |
| その他業務費用             | 6             | 709           |
| 営業経費                | 36,451        | 38,763        |
| その他経常費用             | 11,028        | 5,392         |
| <b>経常利益</b>         | <b>28,827</b> | <b>36,036</b> |
| <b>特別利益</b>         | <b>5,406</b>  | <b>6,756</b>  |
| <b>特別損失</b>         | <b>210</b>    | <b>1,079</b>  |
| <b>税引前中間純利益</b>     | <b>34,022</b> | <b>41,713</b> |
| <b>法人税、住民税及び事業税</b> | <b>2,823</b>  | <b>9,895</b>  |
| <b>法人税等調整額</b>      | <b>11,634</b> | <b>8,354</b>  |
| <b>中間純利益</b>        | <b>19,564</b> | <b>23,463</b> |
| <b>前期繰越利益</b>       | <b>3,227</b>  | <b>3,372</b>  |
| <b>土地再評価差額金取崩額</b>  | <b>△1,075</b> | <b>150</b>    |
| <b>中間未処分利益</b>      | <b>21,715</b> | <b>26,986</b> |

【平成17年9月期注記】

- 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 貸出金のうち、破綻先債権額は4,162百万円、延滞債権額は134,237百万円、3ヵ月以上延滞債権額は5,026百万円、貸出条件緩和債権額は108,739百万円、並びにその合計額は252,165百万円
- 銀行法施行規則第19条の2第1項第3号ロ(10)に規定する単体自己資本比率(国際統一基準)10.42%
- 動産不動産の減価償却累計額 87,781百万円
- 商法施行規則第124条3号に規定する純資産額 46,374百万円
- 担保に供している資産として貸出金、有価証券、特定取引資産合計額 672,574百万円
- 1株当たり中間純利益金額 27円78銭

## 大株主上位10社

平成17年9月30日現在

|                               | 所有株式数<br>(千株) | 発行済株式総数に<br>対する所有株式数<br>の割合(%) |
|-------------------------------|---------------|--------------------------------|
| 日本トラスティ・サービス<br>信託銀行株式会社(信託口) | 58,322        | 6.89                           |
| 日本マスタートラスト<br>信託銀行株式会社(信託口)   | 48,086        | 5.68                           |
| 株式会社東京三菱銀行                    | 38,893        | 4.59                           |
| 日本生命保険相互会社                    | 29,177        | 3.45                           |
| 日本興亜損害保険株式会社                  | 28,905        | 3.41                           |
| 第一生命保険相互会社                    | 25,678        | 3.03                           |
| 明治安田生命保険相互会社                  | 15,579        | 1.84                           |
| 住友生命保険相互会社                    | 13,842        | 1.63                           |
| 千葉銀行職員持株会                     | 13,148        | 1.55                           |
| 株式会社UFJ銀行                     | 12,893        | 1.52                           |

- (注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てております。  
2. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てております。

## 株式の所有者別状況

平成17年9月30日現在

|         | 株主数<br>(人) | 所有株式数<br>(単元) | 割合<br>(%) |       |
|---------|------------|---------------|-----------|-------|
| 政府及び地公体 | 2          | 9             | 0.00      |       |
| 金融機関    | 127        | 408,508       | 48.68     |       |
| 証券会社    | 32         | 8,622         | 1.03      |       |
| その他の法人  | 1,511      | 138,212       | 16.47     |       |
| 外国法人等   | 個人以外       | 386           | 180,470   | 21.50 |
|         | 個人         | 1             | 1         | 0.00  |
| 個人その他   | 18,758     | 103,386       | 12.32     |       |
| 計       | 20,817     | 839,208       | 100.00    |       |

- (注) 1. 1単元の株式数は1,000株です。なお、上記の他、単元未満株式は6,313千株となっております。  
2. 自己株式1,001,005株は「個人その他」に1,001単元、単元未満株式に5株含まれております。なお、自己株式1,001,005株は株主名簿上の株式数であり、期末日現在の実質的な所有株式数は998,005株です。  
3. 「その他の法人」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が10単元含まれております。

## 決算期と配当金のお支払い

毎年3月31日に決算を行います。  
利益配当金は、毎決算期の最終の株主名簿に記載または記録された株主(実質株主を含む。以下同じ。)または登録質権者に対し、定時株主総会終了後に、また、中間配当金は、取締役会の決議により毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録質権者に対し、お支払いいたします。

## 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

## 基準日

毎決算期の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、定時株主総会において権利を行使することができる株主といたします。なお、そのほか必要があるときは、基準日をあらかじめ公告によりお知らせいたします。

## 株式取扱手数料(消費税込)

- ・株式名義書換 無料
- ・新券交付 株券1枚につき210円
- ・株券喪失登録の申請  
株券喪失登録申請料:申請1件につき8,400円  
株券登録料:株券1枚につき 115円
- ・単元未満株式の買取りおよび買増し  
買取価格または買増価格に対して所定の方法で算出

## 公告掲載新聞

東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。

## 株式事務取扱場所・取次所

- ・名義書換代理人・事務取扱場所(お問い合わせ先)  
〒103-8202  
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
日本証券代行株式会社 本店  
住所変更用紙のご請求... ☎0120-707-842  
その他のご照会... ☎0120-707-843
- ・同取次所  
日本証券代行株式会社各支店



# 株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉市中央区千葉港1-2  
TEL.043-245-1111(代表)  
<http://www.chibabank.co.jp/>  
平成17年12月発行